

第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 (小学生の部) 福井県選抜選手選考会実施要項

福井県剣道連盟少年委員会

1 趣旨

大阪市等の主催による「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」(小学生の部)において、本県が入賞し、本県民の意識高揚と剣道の普及振興を図るために、福井県剣道連盟が強化・選考部会を開催し、選手を決定する。

2 参加資格

福井県内の剣道教室(少年団・道場)に在籍する小学生であること。

3 選出方法

(1) 第1次選考会(令和6年2月12日(月))

令和5年度ジュニア育成強化選手選考会において、ベスト8に選考された者を第2次選考会のシードとする。

(2) 第2次選考会

福井県少年剣道錬成大会(令和6年7月7日(日)開催)

本大会都道府県大会代表選考の部において、ベスト8以上に入賞した者を第3次選考会に選出する。

(3) 第3次選考会(令和6年7月13日(土)開催予定)

ア 福井県少年剣道錬成大会で都道府県代表選考会5年生以上の部において、ベスト8以上に入賞した者を少年委員会が招集し、同選考会において勝敗を決する。なお、福井県少年剣道錬成大会の成績に合わせてポイントを次のとおり加算する。

(優勝5ポイント、2位4ポイント、3位3ポイント、5位2ポイント)

イ 少年委員会は、別紙1「採点表」を作成し、第3次選考会の成績結果を照合し、強化・選考部会に推薦し、決定する。

ウ 第1位から第5位までに入賞した者を全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(小学生の部)福井県選抜選手として出場させる。なお、第6位を補欠とする。

また、第1位から第6位までの選手が不測の事情により参加できない場合には、第7位から順に福井県選抜選手として選出するものとする。

エ 少年委員会は、第3次選考会の審判員として、福井県剣道連盟強化・選考部会各位に審判員派遣依頼文書を発出する。

3 第3次選考会における出場選手の申込み

少年委員会は、第3次選考会に該当する者全員に開催の通知を発出する。ただし、第3次選考会への申し込みのない者は、第3次選考会に出場できない。

4 組合せ

総当たりのリーグ戦とし、本大会もしくは第3次選考会当日に抽選を行い決定する。

5 試合・審判および試合方法

(1) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、同細則」及び新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法に準じて行う。

(2) 試合は、原則としてリーグ戦を行い、順位を決定する。

(3) リーグ戦の得点は、勝ちが1点、引き分けは0.5点、負けは0点とし、得点、勝者数、総本数により勝敗を決する。

(4) 試合は2分、3本勝負とし、時間内に勝敗が決しないときは引き分けとする。リーグ終了後、順位を決める必要のあるときには、決定戦を1本勝負で行う。時間内に勝敗が決しない場合には、時間を区切って勝敗が決するまで延長戦を行う。延長2回で深呼吸、更に延長2回で2分間の給水時間をとる。

6 竹刀の検査について

竹刀検査は行いませんが、安全管理上、竹刀の手入れ及び点検を十分に行うこと。